

あ と が き

平成14年度から、いよいよ新学習指導要領が完全実施されます。各学校においては、[ゆとり]の中で[生きる力]をはぐくむことを目指し、全校体制で教育課程の編成に取り組んでいるところだと思います。

さて、新世紀カリキュラム審議会は、「鹿児島らしい教育」の実現のために、各教科の指導における郷土学習の充実が重要な柱である、ということを明言しています。今後、各学校では、学校や地域の特色を生かした学習指導に努め、子どもたちが主体的に学習に取り組めるように創造的な学習活動を展開していく必要があります。

そこで、本号では「鹿児島らしい教育」を実現するという観点から、身近な郷土素材を教材化し、それを活用して創造的な学習活動を展開していくためにはどうあるべきか、述べることにしました。そして、そのことにより児童生徒に基礎・基本を身に付けさせることができるということを、県内外からの貴重な御提言等を賜りながら、基本的な考え方を提起いたしました。学校での研修や実践に生かしていただければ幸いです。

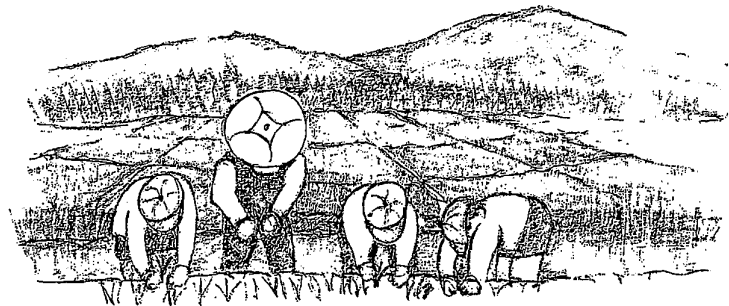
最後に、本研究誌の編集に際しまして、貴重な提言や実践記録等を御提供していただきました皆様方に、心より感謝申し上げます。

〈表紙絵によせて〉

ふるさとは
いい風が吹いている
ふるさとは
心豊かな人たちがいる

育てよう
愛情をふりそごう
心を込めて

そこから 深い絆が生まれる



(第三研修室 研究主事 牧 浩寿)

教育研究 第123号

平成13年10月30日発行

発行 鹿児島県総合教育センター

〒891-1393 鹿児島郡吉田町宮之浦862

電話 (099) 294-2311 FAX (099) 294-2309

http: // www.edu.pref.kagoshima.jp

印刷 かわち印刷有限会社

〒890-0053 鹿児島市中央町27-16

電話 (099) 254-5054 FAX (099) 254-8610